

作成日 2017/01/01  
改訂日 2023/03/01

## 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 EXXSOL™ D110  
供給者の会社名称 安藤パラケミー株式会社  
住所 東京都中央区日本橋浜町三丁目2番2号  
連絡先住所: 東京都中央区八丁堀3丁目25番7号  
担当部門 品質保証課  
電話番号 03-3523-8181  
FAX番号 03-3523-8188

2. 危険有害性の要約  
化学品のGHS分類

健康有害性 誤えん有害性 区分1  
上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。

## GHSラベル要素

## 絵表示



注意喚起語 危険  
危険有害性情報 H304 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ

注意書き  
応急措置 飲み込んだ場合: 直ちに医師に連絡すること。(P301+P310)

保管  
廃棄 無理に吐かせないこと。(P331)  
施錠して保管すること。(P405)  
内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物  
処理業者に業務委託すること。(P501)

## 3. 組成及び成分情報

## 化学物質・混合物の区別

## 化学物質

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
蒸留(石油)、水素化処理した軽質留分	100%	特定できない	(9)-1689	既存	64742-47-8

## 4. 応急措置

吸入した場合 気分が悪い時は、医師に連絡すること。  
皮膚に付着した場合 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合 皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。  
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合 飲み込んだ場合、直ちに医師に連絡すること。  
口をすすぐこと。  
無理に吐かせないこと。

## 5. 火災時の措置

適切な消火剤 周辺火災に応じて適切な消火剤を用いる。  
粉じんが発生している時は乾燥砂を用いる。  
使ってはならない消火剤 棒状水。

火災時の特有の危険有害性  
特有の消火方法

燃焼ガスには、一酸化炭素などの有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙の吸入を避ける。  
消火作業は、風上から行う。  
周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。  
火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

関係者以外は安全な場所に退去させる。  
消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスクなど)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

作業には、必ず保護具(手袋・眼鏡・マスクなど)を着用する。

環境に対する注意事項  
封じ込め及び浄化の方法  
及び機材

多量の場合、人を安全な場所に退避させる。  
必要に応じた換気を確保する。  
漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。  
少量の場合、吸着剤(土・砂・ウエスなど)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾などでよく拭き取る。大量の水で洗い流す。

二次災害の防止策

多量の場合、盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてからドラムなどに回収する。  
付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。  
床に漏れた状態で放置すると、滑り易くスリップ事故の原因となるため注意する。  
漏出物の上をむやみに歩かない。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。  
蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。  
取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。

保管

接触回避  
安全な保管条件

『10. 安定性及び反応性』を参照。  
『10. 安定性及び反応性』を参照。

適切な容器材質  
適さない容器材質

換気の良い場所で保管すること。  
炭素鋼・ステンレス・ポリエチレン・テフロン・ポリプロピレン  
ブチルゴム・天然ゴム・EPDM・ポリスチレン

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
蒸留(石油)、水素化処理した軽質留分	未設定	未設定	未設定

設備対策

蒸気、ヒューム、ミストまたは粉塵が発生する場合は、局所排気装置を設置する。  
取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。

保護具

呼吸用保護具

必要に応じて、適切な呼吸器用保護具を着用すること。

手の保護具  
眼、顔面の保護具  
皮膚及び身体の保護

必要に応じて、適切な保護手袋を着用すること。  
必要に応じて、適切な眼の保護具を着用すること。  
必要に応じて、適切な保護衣を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

以下の物理的、化学的性質は安全管理上有用な代表値であり、仕様や規格値ではない。

物理状態		液体
形状		液体
色		無色
臭い		弱い臭気
融点／凝固点		データなし
沸点又は初留点及び沸点 範囲		248 - 269°C (ASTM D86)
可燃性		データなし
爆発下限界及び爆発上限 界／可燃限界	下限	0.5vol%
	上限	5.0vol%
引火点		115°C (ASTM D93)
自然発火点		234°C (ASTM E659)
分解温度		データなし
pH		データなし
動粘性率		2.6mm <sup>2</sup> /s (40°C)、4.1mm <sup>2</sup> /s (20°C)
溶解度		水に不溶
n-オクタノール／水分配 係数		>4
蒸気圧		0.001kPa (20°C)
密度及び／又は相対密度		810kg/m <sup>3</sup> (15.6°C)
相対ガス密度		7 (空気=1, 101kPa)
粒子特性		データなし
10. 安定性及び反応性		
反応性		情報なし
化学的安定性		通常の使用、保管条件において安定
危険有害反応可能性		情報なし
避けるべき条件		裸火及びほかの着火源との接触
混触危険物質		強酸化剤
危険有害な分解生成物		燃焼により一酸化炭素、二酸化炭素を生成する
11. 有害性情報		
急性毒性	経口	ラット、LD50 > 5000mg/kg (類似構造物質のデータ)
	経皮 吸入	ウサギ、LD50 > 5000mg/kg (類似構造物質のデータ) ラット、4h、LC50 > 5000mg/m <sup>3</sup> (類似構造物質のデータ)
皮膚腐食性／皮膚刺激性		類似構造物質では皮膚の乾燥による不快感や炎症を引き起こすことがある
眼に対する重篤な損傷性 ／眼刺激性		類似構造物質では短時間、眼の不快感が起こることがある
呼吸器感作性		呼吸器感作性は予測されない。
皮膚感作性		類似構造物質では皮膚感作性は予測されない。
生殖細胞変異原性		類似構造物質では生殖細胞の変異原性は予測されない。
発がん性		類似構造物質では発がん性は予測されない。
生殖毒性		類似構造物質では生殖毒性は予測されない。
特定標的臓器毒性 (単回 ばく露)		単回ばく露による臓器の障害は予測されない。
特定標的臓器毒性 (反復 ばく露)		類似構造物質では長期間または反復ばく露による臓器の障害は予測されない。
誤えん有害性		低粘度の炭化水素であり、飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。区分1
12. 環境影響情報		
水生環境有害性 短期 (急性)		データなし
水生環境有害性 長期 (慢性)		データなし

生態毒性 残留性・分解性		水生生物に対する有害性は予測されない。 容易に生分解する。加水分解や光分解は少ないと考えられる。
生体蓄積性 土壤中の移動性 オゾン層への有害性		データなし データなし 構成成分はモントリオール議定書の附属書に記載されている
13. 廃棄上の注意 残余廃棄物		廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和などの処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。
汚染容器及び包装		内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。
14. 輸送上の注意 国際規制	海上規制情報 Marine Pollutant Liquid Substance Transported in Bulk According to MARPOL 73/78, Annex II, the IBC Code	非該当 Not applicable Not applicable
国内規制	航空規制情報 陸上規制 海上規制情報 海洋汚染物質 MARPOL 73/78 附 属書II 及びIBC コー ドによるばら積み輸 送される液体物質 航空規制情報	非該当 消防法の規定に従う。 非該当 非該当 非該当
緊急時応急措置指針番号		非該当 なし
15. 適用法令 化審法 労働安全衛生法 毒物及び劇物取締法 化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法) 消防法 水質汚濁防止法		既存化学物質 既存公表化学物質 非該当 非該当  第4類 引火性液体 第三石油類 (非水溶性) 油分排出規制 (5mg/L 許容濃度)
16. その他の情報 連絡先 参考文献		情報なし 厚生労働省: 職場のあんぜんサイト NITE: 化学物質総合情報提供システム メーカーSDS JIS Z 7252/7253: 2019

その他

この文書は、危険有害な化学製品について使用者が安全な取扱いを実施するための情報として提供されるものです。この文書に含まれる情報および推奨事項は、安藤パラケミー(株)が有する情報および知見の範囲の限りで、発行時において正確且つ信頼できるものですが、この文書そのものは規格でも安全を保証するものでもありません。この文章が最新版であることを確認する場合は安藤パラケミー(株)にご連絡ください。この文書の情報および推奨事項は、使用者による検討、調査のために提供されています。使用者はこれを参考として、使用者の責任において取扱いの実態に応じた適切な処置を施してください。本製品を購入者が再販、譲渡する等の理由で荷姿を変更する場合、購入者の責任において適切な警告表示、安全な取扱い手順を、必ず使用者または取扱者に提供して下さい。この文書を全体的または部分的に変更することは堅く禁じられています。